



WAKAYAMA WEST R.C.

Weekly Bulletin



ロータリーを祝おう

2004-2005 年度 国際ロータリーのテーマ

2004 年 11 月 17 日 (水) №1421 今期第 16 号

本日の例会

クラブ創立 30 周年記念について
稲田 30 周年記念委員長

次の例会

11 月 24 日 (水)
ロータリー財団月間にちなんで
井上ロータリー財団委員長

先週の例会記録

11 月 10 日 (水)

卓話 秋の夜間例会 (家族会)

於、鳳苑

ビジター 粉河 田中東亜男君、和歌山 2 名、東 5 名、南 3 名、北 1 名、中 2 名、城南 2 名

メイキャップ 京都へ湯浅富夫君、和歌山 北へ 4 名

出席報告

(会員数 30 名、出席免除会員 4 名)

本日出席(11/10) 14 名 53.85%

先々週出席(10/13) 24 名 92.31%

者が世界に結び合った団体である。

ポール・ハリスがロータリーを創設したとき、世界を変えようなどと思ったわけでありません。米国の農村部のニューイングランド出身の若い弁護士は、世紀のかわり目のシカゴの産業の隆盛に追い付いくのに必死でした。ポールはシカゴに到着早々嘆いていました。「どこでも人はいる。でも友達はどこにもいない。」ポールは、この疎外感を克服しようとして 3 人の知人を誘い、これまで温めてきた考えを話し合いました。この 3 人のうちの 1 人、鉱山技師のガスターバス E、ローアの事務所で、1905 年 2 月 23 日の夕刻に会合を開くことで意見が一致しました。他の 2 人は、石炭商のシルベスター・シールと仕立業のハイラム・ショーレでした。定期的に集まり友情を分かち合い、事業と専門職務の知り合いの輪を広げることこの 3 人はどう考えたでしょうか？ポールは知りたいたと思いました。みんなは大変価値のある考えだと思いました。4 人はノースディアボン街 127 のユニティ・ビルディングの 711 号室のガスターバス・ローアの事務所で会合を開き続けました。この 4 人は互いの事務所で「輪番に」会合を開くことを決定しました。

ロータリーの原点 (その)

中井秀行

ロータリーとは。国際ロータリー理事会は次のように定義しています。

ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導

11 月 14 日 (日) 午前 8 時半から “ 一万人大清掃 ” (8 名参加) ご参加各位にはお忙しい中早朝よりご苦労様でした。

四つのテスト

われわれがものごとを考え、言い、または為そうとする場合は、これに照合してから

- 1) 真実かどうか？
- 2) みんなに公平か？

- 3) 好意と友情を深めるかどうか？
- 4) みんなのためになるかどうか？

例会日 毎水曜日 12 時 30 分 ~ 13 時 30 分

例会場 和歌山市西汀丁 36

和歌山商工会議所 4F TEL073-422-1111

事務局 〒640-8231 和歌山市北汀丁 7 三井生命ビル 5F

TEL・FAX 073-432-1654

会長 中井秀行 幹事 田中敬彦

クラブ会報 (広報) 委員長 田中 敬彦

クラブ会報 (広報) IT 担当 鈴木 康規